

## 第14回伝統フォーラム 「京都スタイルを現代に」

時代が新しいライフスタイルを求めるなか、京都人が長年育んできた生活スタイルが注目を集めています。ゆったりとした時の流れのなか、木と土と紙の文化を愛し、茶の湯やいけばなをたしなむころ豊かな生活。そんな京都スタイルを現代にどう発信していくか。各分野の若手エキスパートであるみなさんに語り合ってください。

### プログラム

#### ・ 基調講演

##### 「伝統木構造とは」

増田 一眞氏 (NPO法人「伝統木構造の会」会長)

#### ・ シンポジウム

パネリスト 小川 可楽氏 (煎茶小川流家元嗣)

笹岡 隆甫氏 (華道「未生流笹岡」次期家元)

羽田 登喜氏 (友禅作家)

コーディネーター 吉澤 健吉氏 (京都新聞総合研究所特別理事)



増田 一眞氏 NPO法人「伝統木構造の会」会長

1934年生まれ。東京工業大学卒業。1964年増田建築構造事務所を設立し、多くの建築の構造設計を手かけ、日本の木造建築の伝統構法の真髄を究明。伝統構法を未来に伝えなければ日本文化の伝統は亡びるという信念に立ち、NPO法人伝統木構造の会「伝統を未来につなげる会」を設立して、伝統構法の復権に全力を尽くしている。国土交通大臣賞、内閣総理大臣賞など受賞。著書「建築構法の変革」「甞る住文化」他多数。



あかわ からく  
小川 可楽氏 小川流煎茶家元嗣

1971年、小川流煎茶六世後継の長男として京都市に生まれる。立命館大学法学部法学科卒業後、NTT西日本を経て、2009年平安神宮にて献茶式を行い、神前に小川流煎茶家元嗣就任を誓告する。累代煎茶宗家として、近世日本の産んだ煎茶という伝統文化を継承していく使命感を持ち、家元嗣として修業に専心する傍ら、「煎茶席における非言語コミュニケーション論」及び「心理療法における煎茶の役割」をテーマに精力的に研究を深めている。



ささおか りゅうへい  
笹岡 隆甫氏 華道「未生流笹岡」次期家元

1974年、京都市生まれ。京都大学工学部建築学科卒、同大学院修士課程修了。狂言やミュージカルの舞台を「いけばなパフォーマンス」でいけばなを上げるなど、舞台芸術としてのいけばなの可能性を追求。著書に「美的生活のすすめ」(マガジンハウス刊)、「百花の教え」(ぶんか社刊)。京都いけばな協会理事。「ソフィア 京都新聞文化会報」メンバー。



はたと き  
羽田 登喜氏 友禅作家

1968年 羽田 登の次女として京都に生まれる。京都市立銅駝美術工芸高等学校日本画科卒業。京都市立芸術大学美術学部工芸科染織卒業。同大学大学院入学と同時に、祖父・登喜男、父・登のもとで本格的な手描き友禅の修行を始め。現在に至る。2007年日本伝統工芸近畿展 初出品、初入選。京都工芸美術作家協会会員。